

平成29事業年度

決算報告書

自：平成29年4月 1日

至：平成30年3月31日

国立大学法人宮城教育大学

平成29年度 決算報告書

国立大学法人 宮城教育大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,716	2,765	49	(注1)
施設整備費補助金	169	17	▲ 152	(注2)
29年度施設整備費補助金	169	17	▲ 152	
補助金等収入	21	28	7	(注3)
独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	18	18	-	
自己収入	930	802	▲ 128	
授業料、入学料及び検定料収入	897	767	▲ 130	(注4)
雑収入	33	35	2	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	122	112	▲ 10	(注6)
計	3,976	3,742	▲ 234	
支出				
業務費	3,646	3,617	▲ 29	
教育研究経費	3,646	3,617	▲ 29	(注7)
施設整備費	187	35	▲ 152	(注8)
うち耐震対策事業	169	17	▲ 152	
うち営繕事業	18	18	-	
補助金等	21	28	7	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	122	102	▲ 20	(注10)
計	3,976	3,782	▲ 194	
収入－支出	-	▲ 40	▲ 40	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、特殊要因経費において、退職手当の追加配分が当年度中にあったため、49百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、総合研究棟(附属環境教育実践研究センター)の改修に係る工事契約が、翌年度繰越となったため、当初予定より当年度支出額が少額となったことから、予算額に比して決算額が152百万円少額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、当初予定になかった復興大学支援事業、免許状更新講習障害者支援事業が採択されたことにより、予算額に比して決算額が7百万円多額となっております。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として、平成30年度入学者より、授業料の前受をしないこととしたため、予算額に比して決算額が130百万円少額となっております。
- (注5) 雑収入については、主として、清涼飲料水自動販売機の販売手数料、大学入試センター委員協力経費等の増収により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっております。
- (注6) 寄附金前年度繰越分からの支出相当額を収入決算額に含めたが、当初見込んでいた受託事業の獲得が少なかったため、予算額に比して10百万円決算額が少額となっております。
- (注7) 退職教員の不補充、教職員の異動による給与等の減、光熱水量費等一般管理費の節減等により、予算額に比して決算額が29百万円少額となっております。
- (注8) (注2) に示した理由により、予算額に比して決算額が152百万円少額となっております。
- (注9) (注3) に示した理由により、予算額に比して決算額が7百万円多額となっております。
- (注10) (注6) に示した理由、及び、受託事業の今年度執行額の減等により、予算額に比して決算額が20百万円少額となっております。